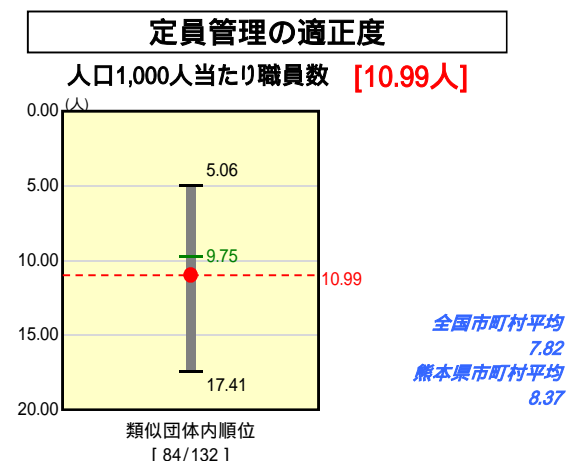
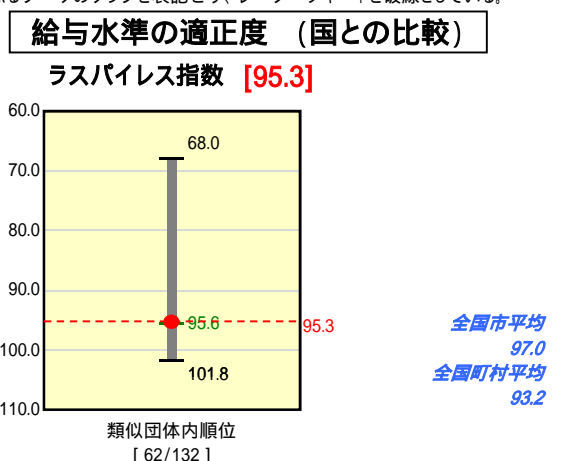
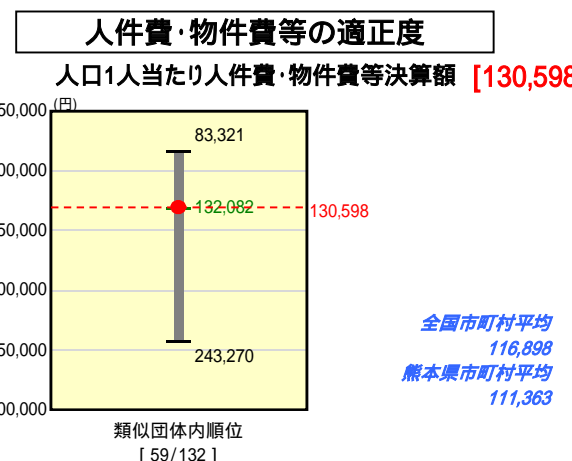
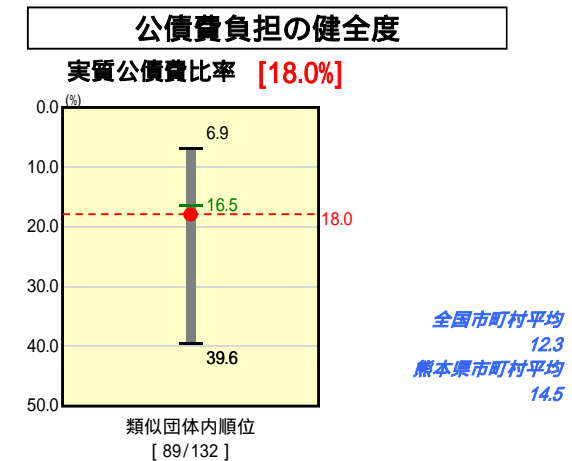
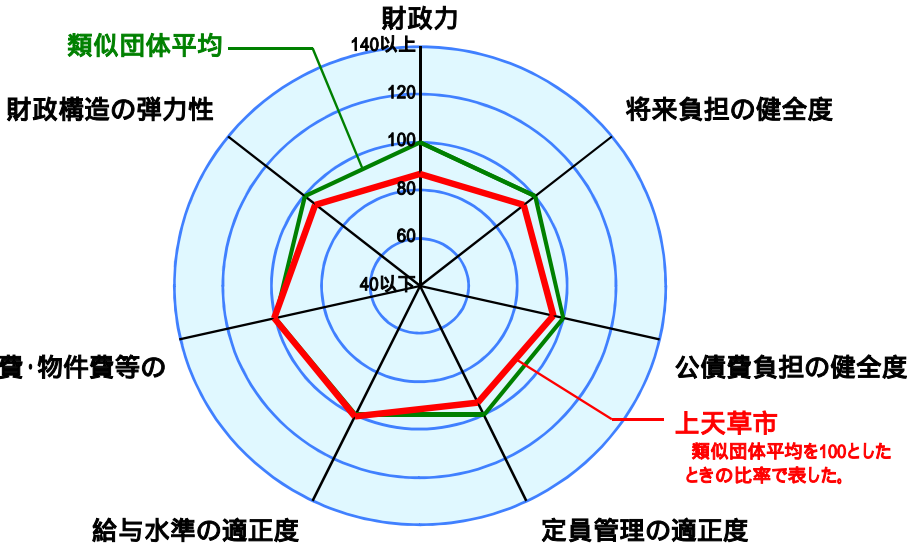
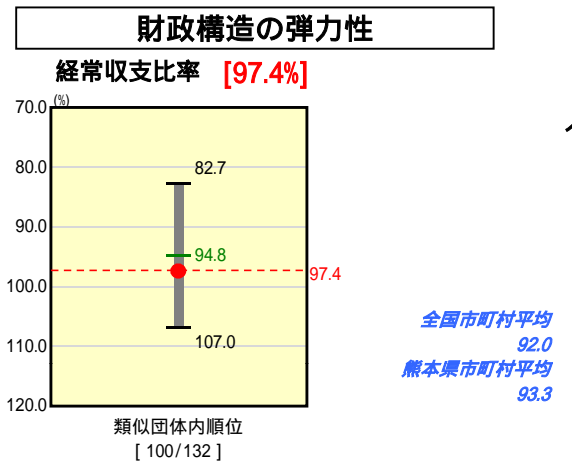
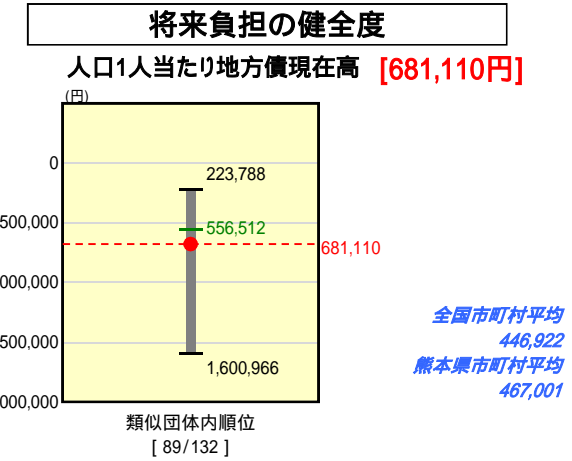
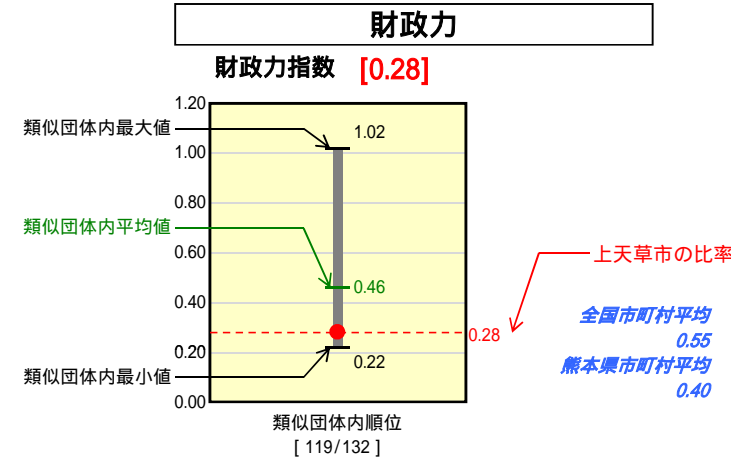


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 熊本県 上天草市

人口	33,380 人(H20.3.31現在)
面積	126.13 km <sup>2</sup>
歳入総額	16,218,717 千円
歳出総額	15,768,082 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

【財政力指数】  
地方税において税源移譲の影響もあり202百万円と伸びはあるものの、昨今景気低迷及び平成18年度に自主納付に切り替えしたこともあり、徴収率は依然として83.5%と低迷しているが、平成19年度から納税課を設置したこともあり滞納繰越分の徴収が増加したこともあって前年度より0.2%増加となっている。今後は、財政健全化の一環として課税客体を適確に把握することで適正な賦課を行い継続して滞納対策会議を実施することで底上げを行う。

【財政構造の弾力性】  
平成19年度97.4%と前年度より1.9%好転したものの、退職手当債を除くと実質98.1%となっており、類似団体94.8%と比較すると2.6%上回っており硬直した財政運営となっている。その中で人件費及び公債費等の義務的経費は、不補充及び繰上償還の実施でそれぞれ1.3%、0.5%回復傾向にあるものの、他会計への繰出金及び一部事務組合への負担金増加が硬直化させる要因となっている。今後は、歳入を適確に確保するとともに、繰上償還を確実に実施して公債費を軽減することによって一層の弾力性を確保する。

【人件費・物件費等の適正度】  
人件費・物件費においては、退職者不補充及び期末勤手当5%削減と内部事務管理経費の抑制で、それぞれ12百万円、55百万円と削減し類似団体並みとなっているが、他市と比較すると職員数、施設が多いことで経費が多額となっている。このため、物件費においては平成17年度から19年度まで計画的に45%削減を行い、人件費においては100人の総数削減を平成22年度までに達成することとしている。合併算定替えの激変緩和措置が始まる平成25年度までには、適正規模を確保するよう今後も健全化計画に沿って推進する。

【給与水準の適正度】  
給与水準は、類似団体並みの95.3%となっており、随時情勢を踏まえて適正化を図ってきた推移は、H15:92.2、H16:91.0、H17:91.3、H18:92.0となっている。今後も国公準拠し適正な給与水準となるよう努めていく。

【将来負担の健全度】  
人口一人当たりの地方債残高は、平成19年度681千円と前年度より若干減少したものの、類似団体を大きく上回っている。よって現在、国の制度である繰上償還を活用し、また普通建設事業計画を策定することで地方債の抑制に努めている。今後は、普通交付税の激変緩和措置が始まる平成25年度までに地方債現在高150億円以下を目標に継続して繰上償還を実施する。

【公債費負担の健全度】  
公債費充当一般財源等70百万円の減少もあり、分子は157百万円と大きく減少し、分母は普通交付税の113百万円の増加もあって、18.0%と前年度から0.9%好転した。分子は今後も繰上償還を実施することで公債費等減少傾向にあるが、ただし分母である普通交付税においては、平成26年度以降の激変緩和措置に備えて25年度までには、15%以下に健全化を行う。

【定員管理の適正度】  
平成16年度合併当初413人(職員数)と多かったものの、不補充を続けたことで367人(平成19年4月1日)と46人減少し、平成22年度までに計画を前倒して100人削減を行う予定である。ただし、雇用機会を拡大するためにも、また世代間の空白を埋めるために平成20年度から新規採用(7人)を行っているが、退職者の一部であり、職員削減に対する事務負担軽減のためにも民間活力の導入を促進する。